



## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 下田	下田は現在の静岡県に位置する港町です。和親条約により、アメリカ船への燃料・食料の供給を目的として箱館とともに開港地に選ばれました。初代アメリカ総領事ハリスが滞在した玉泉寺があることでも有名です。
問2	答え 3 蒸気船	太平洋航路の開拓において、日本はちょうどアメリカとアジアの中継地点に位置していました。列強は航行距離を延ばすために、日本を燃料補給基地として利用することを強く望みました。そのため、日本に対し開港を求める圧力が非常に強まりました。
問3	答え 4 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問4	答え 2 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問5	答え 4 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ないまま独断で調印しました。この条約では、日本が外国に対して関税を決める権利（関税自主権）がないことや、外国人の犯罪を日本が裁けないこと（領事裁判権の承認）など、日本に不利な不平等条約でした。
問6	答え 4 奴隷解放宣言	戦争中の1863年、リンカーン大統領は「奴隷解放宣言」を発表しました。これにより、南部地域の奴隷は法的に自由の身となりました。これは人道的な目的だけでなく、北部の軍事的勝利を目指す戦略的な意味合いもありました。
問7	答え 2 日米修好通商条約	1858年、大老の井伊直弼は朝廷の勅許を得ないまま、アメリカ総領事ハリスと日米修好通商条約を結びました。これにより函館・横浜・長崎などの開港と、治外法権の承認、関税自主権の喪失が決定しました。以後、同様の条約が英・仏・露・蘭とも結ばれ、安政の五カ国条約と呼ばれます。
問8	答え 4 神札	「ええじゃないか」は、天から神札（伊勢神宮などの護符）が降ってきたという噂が各地に広がり、民衆がそれをきっかけに歌い踊りながら練り歩いた民衆運動です。当時の支配体制に対する不満や、今の世の中が大きく変わることに期待が背景にありました。
問9	答え 3 日米和親条約	この条約によって、日本はアメリカ船に対する薪（たきぎ）や水、食料の補給を認めることとなりました。また、下田と箱館の二港が開港され、アメリカ領事の駐在も認められました。鎖国体制を根本から覆す歴史的な転換点です。
問10	答え 4 亀山社中	坂本龍馬が土佐藩などを脱藩した志士たちと共に、長崎で設立したのが亀山社中です。単なる商社ではなく、薩長同盟を裏から支えるような兵器の購入や運搬、さらには海運業を担う組織として活動しました。これが、後の海援隊へと発展していくこととなります。
問11	答え 4 大政奉還	坂本龍馬らの進言を受けた15代将軍徳川慶喜は、政権を天皇に返すことで、徳川家が新しい政権の中でも権力を維持しようと試みました。これが大政奉還です。これにより、長い間続いてきた江戸幕府の支配体制が公式に終わることとなりました。
問12	答え 2 香港	香港島は、イギリスの東アジアにおける貿易と軍事の拠点としてこの条約で割譲されました。この島は後に近代的な港湾都市へと発展し、イギリスの対中進出の窓口として重要な役割を果たしました。
問13	答え 1 江戸幕府	江戸幕府は、将軍を頂点とした封建制度で、中央集権的な統治を行っていました。1854年、アメリカのペリー来航を受けて日米和親条約を締結し、長い鎖国体制を終わらせた。
問14	答え 4 アヘン戦争	アヘン戦争では、蒸気船を擁するイギリス軍に対し、清の軍隊は全く歯が立ちませんでした。この敗北の結果、清は開国を余儀なくされました。その様子をオランダ風説書を通じて知った江戸幕府は、当時の日本軍事力では欧米列強には勝てないと判断しました。
問15	答え 2 薪水・食料	アメリカ船が太平洋を渡る際、日本に立ち寄って船を動かすための燃料である「薪（たきぎ）」と、生きるための「水」および「食料」を確保することを最優先の目的に掲げました。